

中小企業における改革・改善の進め方に関する研究

日本大学 生産工学部 マネジメント工学科 生産管理学的研究室 村田 康一

目的・背景

地域に根差した中小企業は、グローバル環境下における激しい競争に立ち向かいながら、各自の地元経済を牽引しています。このような状況において今後も変わらず、社会に新しい価値を提供しながら経営を継続していく必要があります。本研究においては、直面する課題に果敢に挑戦することができる人づくり・組織づくりをそれぞれの企業のおかれた状況にあわせながら着実に実現できる方法を開発することを目的としています。

原理・方法

従来の管理技術に左図のワンステップ・マネジメントを組み合わせながら「今的一步」「次的一步」を考え、改革・改善に挑戦することを支援しています。製造業における開発・生産・販売などの活動や、地域の活性化など様々な現場において一緒に実践研究させていただいております。

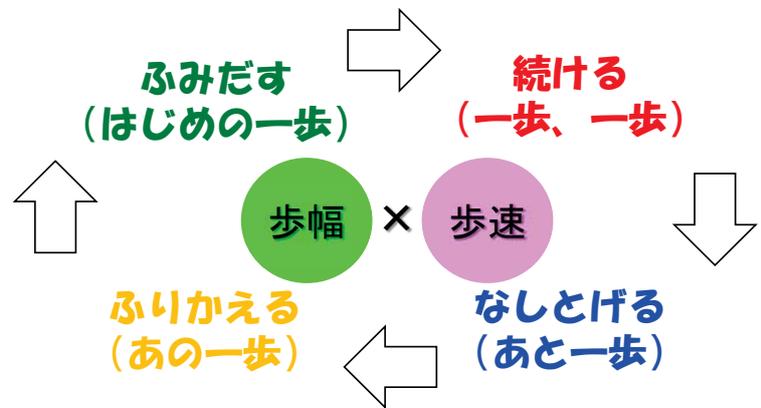


図. ワンステップ・マネジメント(一步の心)

Copyright: Murata Lab., Department of Industrial Engineering and Management, College of Industrial Technology, Nihon University, Chiba, JAPAN

結果・まとめ

これまで下記のようなテーマに取り組んでいます。

- 工作機器メーカーの改善活動の仕組みづくり
- 化学品メーカーの目で見える管理の仕組みづくり
- 水産加工品メーカーの新商品開発支援
- 電子部品メーカーの製造システム設計
- 身体障害者と健常者が共存する仕事場の設計
- 地域人材育成塾の企画と運営 など

応用分野・用途

次のような課題に取り組んでいる共同研究先を希望しています。

分野①：改革・改善マネジメントの構築

分野②：目で見える管理の仕組みづくり

分野③：生産・開発・販売機能の改革・改善

分野④：小売業・サービス業の現場改革・改善

分野⑤：地域づくりや地域人材育成

研究方法：アクションリサーチ

(現場の今の困りごとを

解決する実践的研究法)

得られた成果は共同で研究発表